

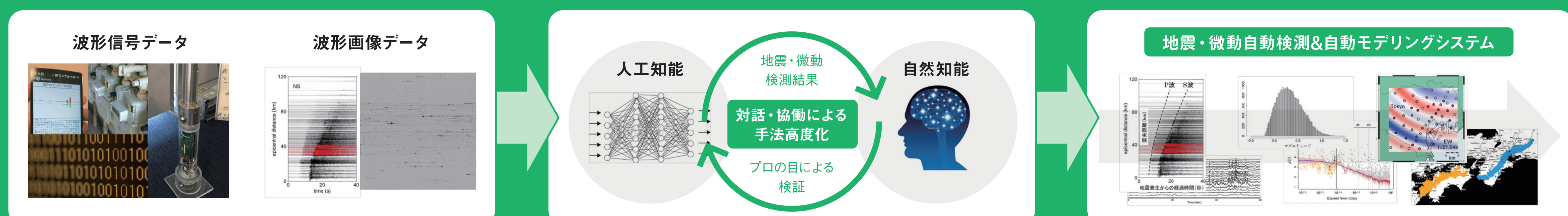
Synergy effect Through Human and Artificial Intelligence
Towards New Era in Seismology

人工知能と自然知能の対話・協働 による地震研究の新展開

世は人工知能の時代。特に深層学習などの機械学習を用いた情報解析技術は多くの科学分野で急成長し、広く社会に利用されています。地震学においても人工知能技術は広がりつつあり、地震波検出においては時に経験豊かな地震学者の目を上回ることもしばしばです。しかしながら、人工知能はブラックボックスであるため人間が理解可能となるように思考過程を示すことができず、地震の発生環境や発生メカニズムの解明という点では、地震学者の長い経験に基づく「自然知能」を凌駕するには至っていません。

SYNTHA-Seisは、中核機関である東京大学地震研究所をはじめとする多くの大学・研究機関に所属する情報科学と地震学の専門家が結集し、地震と微動に関するデータ解析およびモデリングにおいて蓄積されてきた人間の経験と最新の人工知能を融合・相互発展させる「人工知能と自然知能の対話・協働」により、地震研究を加速させると同時に地震防災・減災に貢献します。また、「情報×地震」分野の創成と国民への啓発、ならびに若手研究者の発掘と育成にも尽力します。

SYNTHA-Seis Project



Artificial Intelligence × Human Intelligence

